

平成31年度予算見積調書

課室名：環境政策課
 担当名：企画・環境影響評価等担当
 内線：3007 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B1	環境科学国際センター・パワーアップ事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境科学国際センター費	
事業期間	平成31年度～平成36年度	根拠法令	環境基本法第36条 気候変動適応法第13条	宣言項目		分野施策	061455 多文化共生と国際交流の推進		
1 事業概要				5 事業説明					
<p>環境科学国際センターは、県が直面している環境問題へ対応するための試験研究や展示館での体験型環境学習の場の提供など、多面的な機能を有した環境科学の総合的中核機関である。</p> <p>2020年に環境科学国際センターが開設20周年を迎えるにあたり、老朽化・陳腐化した展示館のリニューアルや民間事業者との共同研究をサポートする体制を整備することなどにより当センターのプレゼンスを向上させる。</p> <p>(1) 展示館等リニューアル費 101,604千円 (2) 環境学習パワーアップ費 957千円 (3) 共同研究サポート等費 3,068千円 (4) 地域気候変動適応センター運営費 3,683千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 展示館等リニューアル費 101,604千円 大型シアターの整備、老朽化施設の改修等 イ 環境学習パワーアップ費 957千円 環境問題を自分ごと化する学習シートの作成 ウ 共同研究サポート等費 3,068千円 地域・企業のニーズを踏まえた共同研究の推進 エ 地域気候変動適応センター運営費 3,683千円 県の気候の将来予測等の情報を、あらゆるメディアを活用して県民・企業等に発信</p> <p>(2) 事業計画 平成31年 展示館等リニューアル工事 平成31年～平成36年 環境学習パワーアップ 共同研究サポート等 地域気候変動適応センターの運営</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 環境科学国際センターの来場者が増え、環境学習がより一層促進される。 イ 環境科学国際センターの展示館で学んだ小学生が、環境保全の行動を起こす。 また、その小学生が学んだことを保護者に話すことで、社会全体に環境保全の意識が醸成される。 ウ 地域や民間事業者との連携が促進され、環境科学国際センターのプレゼンスが向上する。 エ 地域気候変動適応センターの運営により、気候変動対策の適応策に関して理解が深まる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比
決定額	109,312	県債						61,312	109,312
前年額	0							0	